

## 展望・エグゼクティブセミナー

— 「3線」モデルの構築と内部監査の制度化、  
FATF審査とアンチ・マネーロンダリング対策

日 時

2019年 4月23日(火)  
13:00~16:30 (受付開始12:30)

会 場

赤坂 Biz タワー(港区赤坂 5-3-1)30 階  
リフィニティブ・ジャパン(旧トムソンロイター・ジャパン)セミナールーム  
[http://pr.reuters.co.jp/features/map/map\\_jp.html](http://pr.reuters.co.jp/features/map/map_jp.html)

概 要

ガバナンスの確立に向けて、日本金融監査協会では、「3線」モデルの構築をまた、一般社団法人実践コーポレートガバナンス研究会では、内部監査の制度化を提言しています。それぞれの協会の有力メンバーを招き、提言の趣旨と実務上のポイントを解説してもらいます。

金融危機後、金融機関自らが「3線」モデルを構築し、ガバナンスの確立を図ることを前提に、金融当局が監督・規制を行うという考え方が定着しました。

アンチ・マネーロンダリング対策も同様です。FATF 審査で求められるのは形式的な規制対応ではありません。正しい「3線」モデルを構築して、ガバナンスの態勢整備を図るなかで、同対策を実効性のあるものとする必要があります。本分野の専門家を招き、経営者・取締役会がアンチ・マネーロンダリング対策に取り組む際の基本方針や留意点について解説してもらいます。

参加対象

金融機関の取締役、監査役、執行役員、部門長、シニアな管理者を対象とします。社外役員を含め、ご関心のある方々に広くお声がけください。

参加費用

会員 5,000円 非会員 15,000円  
※会員/賛助登録して頂いた方は、初回の受講費用を無料とします。2回目以降は会員価格(5,000円/1日)で受講可能です。  
金融機関の社外役員(個人会員)にはすべてのセミナーを無料で提供します。

プログラム

13:00~14:30

講演 「3線」モデルの構築と内部監査の制度化

講師 日本金融監査協会設立会員、FFR+ (日本銀行金融高度化センター) 代表  
碓井 茂樹 氏一般社団法人実践コーポレートガバナンス研究会 理事  
大谷 剛 氏

14:45~16:15

講演 アンチ・マネーロンダリング—FATF 審査を見据えた今後の対応

講師 プロモントリー・フィナンシャル・ジャパン マネージング・ディレクター  
信森 毅博 氏

(質疑応答)

受講証明

CIA、CFE、CISA 等に係る CPE 申請のための受講証明を発行します(3CPE)

申し込み

協会 HP よりお申し込みください。 [https://ifra.jp/seminar\\_info/index.html](https://ifra.jp/seminar_info/index.html)